



2019年12月16日

各位

会社名 ウェーブロックホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 木根 渕 純
(コード番号：7940 東証第一部)
問合せ先 取締役兼執行役員管理本部長 石原 智憲
(TEL：03-6830-6000)

当社連結子会社間の合併に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年4月1日付でアドバンステクノロジー事業を再編し、当社の連結子会社である株式会社ウェーブロック・アドバンス・テクノロジー（以下、「WAT」）を吸収合併存続会社とし、株式会社シャインテクノ（以下、「STC」）を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 合併の背景・目的

WATの100%子会社であるSTCが製造販売する多層シートおよび単層シートは、従来、主にスマートフォン表示部分の前面板や筐体に採用されてきました。しかし、ここ1年程の間、ナビゲーションシステム用途やヘッドアップディスプレイ用途など、自動車向けの採用が増加傾向にあります。この傾向は、いわゆるCASE（Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、Shared & Services（カーシェアリングとサービス/シェアリング）、Electric（電気自動車））の本格的普及に伴うディスプレイの大型化や、ディスプレイと内装パーツとの一体化の進化とともに、今後、更に進むものと想定しています。

一方、WATが製造販売する金属調加飾シートは、従来、主に自動車の内外装向け用途で採用されてきましたが、自動車パーツの樹脂化、フィルム化に伴い対象市場は拡大を続けています。しかしながら、市場拡大に伴い競合も増える中、一層の差別化を進める上で、加飾フィルムを構成する各種材料やフィルムの進化が必須になるものと考えます。

このような事業環境の下、自動車向け加飾フィルム分野で長年の実績を持つWATと、光学用途にも適応出来る高品位な多層および単層シートを生産するSTCを来年4月1日に合併し、両社の持つ強みを融合させ、リソースの有効活用を図ることで、今後の成長が期待出来る自動車分野等での一層の事業拡大を目指します。

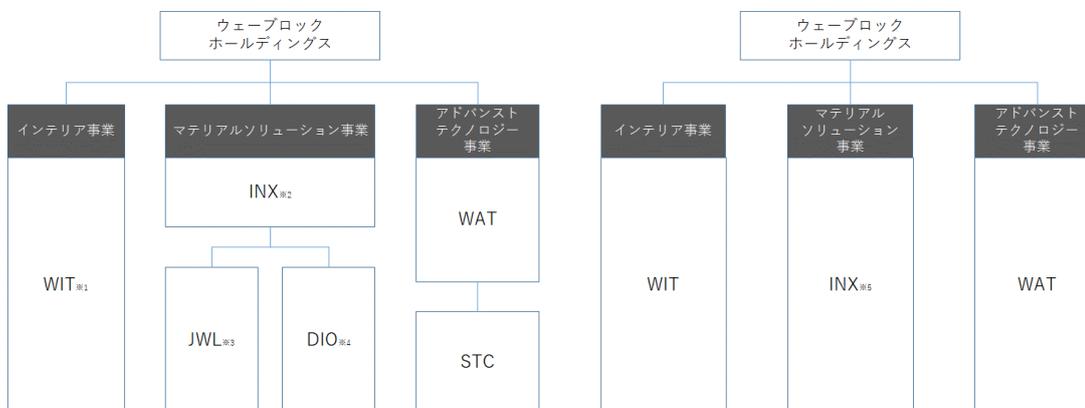
具体的には、WATの国内外の販売ネットワークを活用したSTC製品の本格販売や、WATの次世代加飾フィルム用の特殊フィルムのSTCにおける開発等に取り組む計画です。

2. 合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1) 商号	株式会社ウェーブブロック・アドバンス スト・テクノロジー	株式会社シャインテクノ
(2) 本店所在地	東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー13F	東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー13F
(3) 代表者	代表取締役兼執行役員社長 島田 康太郎	代表取締役兼執行役員社長 外山 達志
(4) 事業内容	合成樹脂、各種材料の加工・販売および コンサルティング	高機能光学・高透明多層シートの製造・ 加工・販売
(5) 資本金	1億円	1億円
(6) 設立年月日	2010年4月1日	2006年4月24日
(7) 決算日	3月31日	3月31日
(8) 従業員数	57名(2019年9月30日現在)	22名(2019年9月30日現在)
(9) 大株主及び持株比率	ウェーブブロックホールディングス株式 会社 100%	株式会社ウェーブブロック・アドバ ンス・テクノロジー (100%)

【合併前】2020年3月末まで

【合併後】2020年4月1日から



※1：WITとは、株式会社ウェーブブロックインテリアの略称です。

※2：INXとは、株式会社イノベックスの略称です。

※3：JWLとは、日本ウェーブブロック株式会社の略称です。

※4：DIOとは、ダイオ化成株式会社の略称です。

※5：2019年9月17日付「当社連結子会社間の合併に関するお知らせ」にて公表の通り、2020年4月1日付で当社の連結子会社である株式会社イノベックスを吸収合併存続会社とし、日本ウェーブブロック株式会社とダイオ化成株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行います。

3. 今後の見通し

本合併は、当社の完全子会社同士の合併であり、連結業績に与える影響は軽微です。本件が連結業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上